

処することだけではなくて、包括的に、全庁的、また視野を広げ、対応する問題であると思いますので、今後ともこの空き家改正に合わせて、しっかりと庁内で検討、また対応をしていただきたいと思います。

以上で、一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、加藤議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を25分といたします。

〈午後3時18分 休憩〉

〈午後3時25分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。よろしくお願いいたします。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、（仮称）駅北子育て支援複合施設について。

糸魚川市は11月21日、定例記者懇談会において、（仮称）駅北子育て支援複合施設の整備は、計画に検討を要する部分があるとして、債務負担行為に関する議案の上程を見送ったとの報道について、伺います。

- (1) 米田市長の「まだ詰まっていない部分もあるので、検討を要するという事で今回は断念した」とあるが、どの部分が詰まっていないのか。
- (2) 12月定例会後の最短の議会で提出したいとは、いつのことなのか。
- (3) 市の方向性はある程度定まっている。手順の段階で慎重に検討していきたいとは、どういうことなのか。
- (4) 施設整備の遅れにはならないとも報道されているが、いつ頃を想定しているのか。
- (5) 以前から費用対効果の薄いハコモノ建設は、建設費そのもののほか、毎年の維持費もかかり、多くの市民から疑問の声が出ています。権現荘の二の舞にならぬように計画を断念すべきと考えるが、いかがか。

## 2、柵口温泉権現荘の譲渡について。

柵口温泉権現荘の譲渡について、進捗状況について伺います。

- (1) 現在の売上高は幾らで、令和5年度の予算額に届く見込みがあるのか。
- (2) 10月26日の全員協議会以降、応募事業者の信用調査は行ったのか。
- (3) 財政支援の要望について、今後の交渉になるとのことであったが、どのようになったのか。  
相手の言い値をそのままのむことはあってはならないと思うが、どう考えるのか。
- (4) 譲渡事務に係る補助金、交付金及び市債の返還金額について変更はないのか。
- (5) 今後のスケジュール案にあるような優先交渉者への通知や選定の結果公表は行ったのか。
- (6) 直営（日帰り温泉のみ）で続けた場合と譲渡した場合とでの試算で、それぞれ多額の負担額が生じることについて、どのように捉えているか。
- (7) 黒字体質にならない要因は何であると捉えているか。

## 3、糸魚川市スキー場事業について。

温暖化による雪不足や若年層の余暇の多様化などの影響で当市のスキー事業を取り巻く環境について伺います。

- (1) 当市のスキー場管理活用等調査報告をどのように捉えているか。
- (2) オフシーズンの活用方法について考えはあるか。
- (3) シーサイドバレースキー場は、雪不足で営業日数が少なくなっていると思われるが、今後の見通しはどうか。
- (4) 両スキー場の指定管理期間が満了となる令和7年度中に方針を固めるとあるが、どのようなことが考えられるのか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、基本計画修正案の内容を議会において引き続きご審議いただきたいものであります。

2点目につきましては、来年6年3月市議会に提案いたしたいものであります。

3点目につきましては、市の考えを基本計画修正案にお示しし、所管の委員会でご審議をいただいております。今後の公募までを円滑に進めるため、引き続き検討したいものであります。

4点目につきましては、9年度中の供用開始を目指しております。

5点目につきましては、糸魚川市駅北大火からの復興とにぎわいづくりを背景として、子育て支援を中心に、多世代が交流できる場所の創出を目指し、整備をしております。

2番目の1点目につきましては、4月のオープン時から10月末時点で704万円であり、予算額には届かない見込みであります。

2点目につきましては、相手方の経営状況等を調査中であります。

3点目につきましては、現在、相手の条件について交渉しているところであります。

4点目につきましては、国県と協議中であります。

5点目につきましては、所管の建設産業常任委員会において説明し、進めてまいります。

6点目と7点目につきましては、健康福祉施策として必要な施設と捉えており、一定の負担は必要と考えております。

3番目の1点目につきましては、市内スキー場の在り方について検討を進める中で、基礎資料として活用してまいります。

2点目につきましては、魅力的なイベントやアクティビティの充実とともに、合宿等の誘致による温泉や宿泊施設の有効活用が必要であると考えております。

3点目につきましては、積雪状況等により、営業日数が少なくなることを懸念いたしております。

4点目につきましては、スキー場の必要性や費用対効果を考慮し、総合的に判断してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入らせていただきます。順番どおりでさせていただきます。

もう一度繰り返しになるかもしれませんが、新聞報道では、（仮称）駅北子育て支援複合施設の債務負担行為に関する議案が見送られたとありまして、詰まっていない部分があるとか、方向性が定まっているが手順を検討するとは、具体的にどういうことなのか、もう一度分かりやすく説明していただきたいんですけども、お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

まだご理解いただいてないようなところも感じられるわけですので、そういったところを議会の議員の皆様方にお示しをしながら進めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

一応、市が事業者、市はこの事業者が設計だとか建築だとか管理運営を一体的に行うこのDBO方式で進めたい意向に沿って、スケジュール案やこの事業者候補の実施案などを示してきたわけですけども、総務文教常任委員会での基本計画、修正案の見直しや、施設利用の検証を求める意見であるとか、このDBO方式の進め方に疑問の意見等を踏まえての判断としているということで、今度は指定管理制度に変更になるという、そういうものになったんでしょうか。どうもそこら辺がちょっと分からないんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

他の議員の一般質問の中でもお答えさせていただきましたが、基本的にはDBO方式で行きたい。そして、その中で決めていくわけでございますので、大きくは、細かい点についてはまだ定まっておるわけではございません。考え方として、我々が求めているものを、やはりその辺をもう少し議員の皆様方からもご理解いただきたいというところが少しづれを感じておる部分がございますので、そういった点をもう少しご説明をさせていただきたいということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると先ほど市長の答弁があったように、3月議会で諮りたいというようなことなんですけれども、そうすると、あともう12月、1、2、3ということで、あとこの二、三か月の間にまた詳しい説明というんでしょうか、そういったことが行われるということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

3月議会までの間に所管の委員会の中で、また皆様方のご意見をいただいたり、我々の考え方を説明させていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

例えば施設そのものの概要について、変更があるとか、そういったことはもうないということなんでしょうか。

それと、もう一つやっぱり私が気になっておるのが、やっぱりこのパブリックコメントに関して、ネガティブな意見には、真摯に、糸魚川市が向き合っていないんじゃないかというふうに思うんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

我々は、今の計画案をお示しさせていただいております。基本的にはその方向でいくわけでございますが、やはり我々の求めているものと今提案をしているものと、そしてやはりDBOの中でいろんな情報をいただき、そしてまたパブリックコメントでいただいた点についても、それをその中で入れるか入れないかというのもその中に、要するに市民のご意見というものを取り混ぜながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どうでしょうかね。ちょっとこの期間的に短いような気もするし、なかなかどうでしょうかね。今のこの糸魚川市の出生数というんでしょうかね、私が承知している数といいますか、糸魚川市が公式に発表してる出生数の数というんでしょうかね、令和4年度の出生数は176人であったということは、もう既に発表はされておまして、今年度は何人だったのかなというのがちょっとまだ公式発表はないということ。

それと、最近、合計特殊出生率というのが、どこを見ても出てないので、今、令和4年最新で、合計特殊出生率というのはどのぐらいなのかというのが、ちょっと私には分からないので、そこら辺どうなってるのかということなんですけど、そこら辺教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

令和4年の県によります人口動態統計の概況によりますと、令和4年度の糸魚川市におけます合計特殊出生率は1.40ということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

今年度4月から11月末までの出生届の数は、93件でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員に申し上げます。

通告の範囲内でお願いしたいと思います。

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

思ったほど多くないのかなというふうに思っております。

通常、何かものをやるにしても、現在のといいますか、数というんでしょうかね、情勢を見ながら未来を予測をして、いろいろ計画を立てて推し進めていくんだらうと思うんですけども、本当に

出生数が200人を割り込んでいるというんでしょうか、こういう状況において、4年後を見据えたときに対象者がさらに減少すると考えられるんですけど、そこら辺と今の計画と整合性が取れるのかということなんですけども、そこら辺はどう考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

子供の数と施設とのやはり関連性というのを今ご指摘かと思うわけでありますが、確かに数と施設の面積だとか、いろいろ当然そういったことは関連が私はあると思っております。

しかしながら、数が少なくなったから施設は要らないということはないと思いますし、やはり施設においては、子供が減少しても必要なものは必要だと思いますし、そしてまた、我々はやはり一番今捉えておる中におきましては、結果は出ておりませんし、なかなか減少傾向にあるわけでありまして、少子化対策というのもやはり大きな事柄であるわけでありまして、ただ箱物として一つに判断することではなくて、子供たちにとって必要な施設となるべく、やはり整備をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市長はそういうふうな言い方になってしまうんでしょうけれども、やっぱり行政サービスというのは大事だと私は思っております。

ただ、やはり利用者が少なくなるというのがあらかじめ予測されるのに造ろうとしていこうとすることには、やっぱりちょっと理解に苦しむんじゃないかと思うんですけど、そこら辺はやっぱり、ちょっとそこら辺のことを考えていただかなかつたら、のべつ幕なしに造ってしまったらこの町は、この町はというかこの市は、もう財政破綻じゃないんですけども、何でもかんでも造ってしまったら、それは皆さんハッピーかもしれないですけど、それはやっぱりちょっと理に合わないと思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

議員ご指摘の、のべつ幕なしというのは、少し不穏当な発言ではないでしょうか。我々は、ずっと市民と、やはり意見交換をしながら、そして、今ある行政課題、それに合わせて進めてきてるわけですので、少しやはり言葉を整えて、選んでいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

大変失礼いたしました。発言には注意したいと思います。

ある程度、どうでしょうね。私は、やはり今あるものというんでしょうか、やっぱり再利用していくという考えがいいんじゃないかと思うんです。私の地元の下早川小学校ですけれども、今児童数が68名で、来年から複式となってしまうということで、4年後の令和9年度には、もう四十数名というような数字が載っておりました。市立の小学校とか中学校でも、かなりスペースが空いてきてるんじゃないかと思うんですけれども、そこら辺どう考えていらっしゃるのかなと思いますけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

今回の子育て支援複合施設のもともとの出発につきましては、駅北大火からの復興であり、にぎわいだったということ。また併せて、子育て世代に対するアンケートにつきましては、私ども、平成29年、令和4年度とアンケートを取っておりますが、その中の自由意見欄で、やはり屋内遊戯場を求める声といったものが一番でありました。

そのような中、今ほど議員から小学校等での空き教室ということのご提案でございますが、実際には児童生徒数の減少によりまして、確かに一クラス当たりの人数が減ってきたり、複式化というのが進んでおりますけれども、その一方で、特別支援を有する児童生徒の教室といったものが、各学校で必要になってきている実情があります。そういった中で現在の校舎を利用してといった、このような施設というものは、現段階では難しいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

適切な場所で適切なところということをおっしゃってるんだらうと思うんですけれども、私はやっぱり人の行動というのは、もう勝手なもので、天気が悪ければやっぱり外出は控えると思うし、ましてや冬、雪ふぶいてたら、やっぱり交通事故なんかの危険性もありますんで、やっぱり外出というのは控えると思うんですけれども、そこら辺はどう考えられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

糸魚川市ですと四季がありまして、大雪のときがあれば、夏場の暑いときもあります。そういった中で、やはり屋内遊戯施設というのは、これまで糸魚川市になかった施設でありまして、なかなか

か初めての施設というのは、なかなか市民の皆様からまだ理解できてない部分があるかと思っております。

しかしながら、子育て世代にとっては、こういった屋内遊戯施設が、先ほど申し上げましたとおり、求められている施設、家だけではなく、そういった皆さんと出会える場所といったものも子育て世代にとっては、今、求められてる施設でありますので、そういった天候等にもよらず集まれる場所といったものを、今後の運営内容も含める中で皆さんが居心地のよい施設、また来たくなる施設といったものを目指していきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やっぱり理想と現実というのは、やっぱりあると思うんですね。そこら辺はやっぱりちょっと適切に突いてもらいたいなと思います。

私、7月の22日、土曜日だったんですけども、青海の総合福祉会館と、今月の2日の青海の生涯学習センターへ行きまして、「もっと！アソビバ！」というところを見てきたわけなんですけども、そこら辺は、行政側としてはどのような成果というんでしょうか、どうであったと思われませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

「もっと！アソビバ！」につきましては、令和4年度、令和5年度ということで実施をしてきております。その中で、例えば7月実施のときであれば、暑さの中でもやはりエアコンの効いたところで、やはり自宅以外のところでも、決して天候の悪いといいますが、雨や大雪じゃない日でも、そういったところにも集まりやすいといった部分もありますし、先般、12月2日に開催された部分も、朝方は雨が降っておりましたが、その後、天候が回復する中でも寒さという部分がありました。そういったところで、そういった中でも今回施設につきましては、暖房が完備しているというところで、そういった部分でも皆さんが集まりやすい部分だというふうに捉えております。

そういった中で、それぞれのまた皆さんの声をお聴きしておりますが、やはりこのような子育ての集まれる場所といったものは、一定数のニーズといったものがあるというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私はやっぱりあの程度の来場の人数では、とてもやっぱり造りたいとは、気持ちにはやっぱりなりませんでしたね。そこら辺がやっぱりちょっと行政と普通、何ていうんでしょうかね、素のまんまで見た感じというんでしょうか、それとのギャップがあるように思うんですけども。何かもう皆

さんのあれですけども、造りたい一心で、ちょっとやっぱりもうちょっと冷静に考えてもらったほうが私はいんじゃないかと思うんです。そこら辺は、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

決して、行政側だけが造りたいという思いであるものではありません。これまでも、先ほどもお答え申しましたとおり、糸魚川市内に住む子育て世代の方々が、こういった施設が欲しいといったところと駅北からの復興、にぎわいづくりということで、こちらのほうの計画がスタートしているところであります。

議員も参加していただいたわけですけども、きっと皆さん、こういった施設を造ってもらいたいということで、議員としても感じられたんじゃないかというふうに捉えておりますが、やはりそういった一人一人の声というのを大切に、計画に反映してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

本来は、支援センターが手狭になったというところがスタートラインだと思うんですね。あの程度というとな変な言い方ですけど、そんなに大きな発達といいますか、その隣のところがちょっと多くなって、支援センターが手狭になったということからの話だというふうに思うんですけども、どんどん、どんどんそれが大きく膨らんで来たような感じがするんですけども、どうもそこら辺がどうも前のめりになってしまって、なかなか、これで大丈夫なのかなと思うぐらい今の糸魚川市の規模からいって、やっぱりちょっと無理があるんじゃないかなというのが私の率直な意見なんですけれども、そこら辺は改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

今ほどの件につきましては、基本計画の修正案のほうにも記載されております。スタートにつきましては、先ほど来、申し上げておりますとおり、屋内遊戯施設のニーズが高かったこと、そちらに相談機能等のあります子育て支援センターの機能を付随させていきたいといったもので、今回計画のほうを進めたいものであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

子育て支援は、やっぱり必要だと考えてはおるんですけども、やっぱり施設だけでは全く解決できるとは思えません。中学、高校、大学へ進学するにつれて、やっぱりそれぞれの場面で、やっぱり人的、あるいは経済的な支援を最優先とすべきと考えるんですけども、そこら辺をどう考えてるかということと、それと、その利用者が減り、負担だけが毎年加わっていく、この箱物に投資するのは、やっぱりちょっと無駄じゃないかという気が、ちょっとそういう言い方になりますけれども、とても私は賛成する気にはなれないんですけども、そこら辺改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

議員ご承知のとおり、今整備をしようという施設につきましては、幼児を中心に行っております。ほかには何もしていないような今発言をお聞きしたんですが、そうじゃなくて、私は、糸魚川は0歳から18歳までの一貫教育の中で、やはり途切れない支援をしていきたいということで取り組んでおるわけございまして、決して今の施設だけで、もう子育て支援といいましょうか、子供の支援というのは終わっておるというつもりはありません。やはりまだまだいろんな支援があったり、いろいろやはり子育て環境というのは整えていかなくてはいけないと思っております。そのようなことで、その一環ございまして、妊娠前からの対応もございまして、そして、生まれたら、子供さんたちはどのように成長していくか、その段階段階でやはり行政の支援というのも連携しながら、やはり糸魚川の子供たちの教育を、まず子育てを支援していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どうも市長おっしゃっているんですけど、でもやっぱり私にはちょっと響かないんですよ。やっぱり今の糸魚川市には、勢いがやっぱり欠けているように思います。糸魚川市に人を集めるとか、企業誘致をやるか、何か力強い宣言をしてもらいたいし、私のところには、子供や孫まで負担がかかるので、賛成する方は正直いないんですね。なので、今いろいろおっしゃっていただいておりますけども、なかなかやっぱり、はい分かりましたとは、私はちょっとこの場では申し上げれないということです。

次に、2番目の権現荘に関して進みたいと思います。

権現荘の譲渡についてであります。1問目の質問で、役所が立てた売上予算が、たしか1,800万でしたでしょうか。それが、先ほど市長のお話ですと700万幾らでしたでしょうか。大分差があつて、未達成であつたということなんですけども、それはどう思っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

先ほど市長の答弁のとおり、4月オープン時から10月末の時点で704万円の収入であります。このまま向かいますと、年間の収入は1,200万円程度というふうに見込んでおります。当初、予算で見ておりました数字につきましては、議員おっしゃられますとおり1,800万円程度の収入を見込んでおりましたが、なかなか届いておらない状況であります。現在、なぜ届かないかということ进行分析しておるところでございますが、昼食会場ですとか食事を取る、出すべき施設がないもんですから、そういったもので宴会ですとか、そういった昼食会ですとかというものが物すごく減っております。それと、バスを今持っておらないもんですから、地域にお迎えに行つて、地区の老人の方とか女性の方とか地域の活性化の方とかをお呼びするのが非常に困難になっていることから、収入が伸びていないものというふうに思っています。

ただ、そういう状況の中でありますので、施設のほうでは光熱水費等を減額するよう努力しております。最終的な支出は、予算書では3,378万円の支出予定ですが、3,200万円程度で収めることができるんじゃないかということで、今努力しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

こう言っちゃ失礼な言い方かもしれませんが、単なる修繕費だとか消耗品を当初に多く見積もっただけで、何かそんな言い訳的な答弁のように聞こえるんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

修繕費等は、今年度ほぼ見ておりません。少ないことになっておりまして、委託料等は見えておりますが、修繕費等は、全体でも800万円程度、消耗品を含めて800万円程度となっておりますのでどちらかという、光熱費用と人件費を抑えているというのが大きいかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

権現荘は、今年度から市の直営ということなんですけども、職員に対しても、権現荘を利用するように強く推奨するということはできないものなんでしょうか。やっぱり私も、4月から3回ですけど利用はしておるんですけど、少し責任を感じてもらいたいと思うんですけど、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

もちろん市の職員にも権現荘を利用させていただくように周知はしておりますが、市内には他の温泉施設ですとか、そういった施設もありますので、そういったところも使っていただく必要があると思っておりますので、必ずしも権現荘だけに来てくださいということとは言えない状況と考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やっぱりちょっと必死になってもらいたいですよね。やっぱりこういう施設でございますんでね、やっぱり一丸となってやってもらいたいと思います。示しがつきませんのでね。赤字になって、やっぱり、いや、すいませんというわけじゃないんですけども。こういう理由でなんて言われても、やっぱりなかなか、役所の中では通用するかもしれませんけども、一般の世の中では、民間の厳しい競争の中では、やはり皆さんどうでしょう。職を失ってしまう場合もあるんで、そこら辺は、やっぱり役所のそういう感覚というのは、やっぱりなくしていただきたいというふうに思います。あくまでもコスト意識を持って、競争に勝つてこそ、やっぱりそれなりの、何ていうでしょうかね、企業といいますか、そういうもんだと思いますので、やはり赤字になってというよりは、やはり1円でもいいから利益を出して、貪欲にやっぱり考え、考えてといいますか、経営のほうもやっていただきたいと思います。本当にすいませんで済むんなら、本当に世の中、本当に楽です。楽というか、本当にいいなと思いますんでね、そこら辺ちょっとやっぱり真剣に考えてくださいよ。

あと、（2）番ですけれども、すいません。10月26日以降の全員協議会后、北海道の事業者で、あるオーナー企業の傘下の会社のうちの1社で、傘下の中にはスキー場やホテルを運営している会社もあるとのことでした。交渉中であることを理由に、その企業名というんでしょうかね、そういった公表がなかったんですけども、それは理解はするんですけども、糸魚川市が期待するような評価であったのか、そこら辺は教えてもらえないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

9月29日に選定委員会が実際に行われておりますので、そちらの中では、応募のあった事業者を譲渡先の候補者として選定いただいているということから、市としてもメリットがある事業者だというふうに思っております。現在も交渉中ございまして、市長答弁にもありましたとおり、今議会中の建設産業所常任委員会には、一定の説明ができるものというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

信用調査も取られたということで、理解してよろしいというふうに話を進めたいと思うんですけども、信用調査では、通常点数だとか、あるいは点数に基づくABCランクというのが表示をされておりまして、相手の経営状況だとか、経営者の性格等、把握が大体おおよそできるんですよ。おおよそですけども65点以上、Bランク以上であればよい会社だというふうに思っております。あまりよいと評価されなければ、交渉する必要はないと思いますけれども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えさせていただきます。

議会全員協議会では、信用調査を含め、多くのご意見・ご要望をいただいております。そういったものにつきましても、現在、鋭意努力し、協議もしくは調整をしておりますので、現在の段階で新たにご説明できるものはないということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

無理してする必要はないということを言いたいんです。無理して、変に点数があまりよくないのに、やる必要もないということを言いたかったんです。

あと、相手が途中で、相手の企業さんが倒産した場合というのは、どう考えていらっしゃるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

もちろんそういったことも考えられるわけでございますので、譲渡における協議、また協定等の中で、そういったものに対応できるべく、契約を結んでまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

まだまだ課題が残っているということが、分かりました。

あと3番目、この相手の財政支援ですけれども、この要望のままなのか、それとも多少条件が緩和されたというのでしょうか、うのみにすることだけは避けるべきだと思いますけれども、そこら辺いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

財政支援の方法につきましては、相手が提案しているという数字をお示しさせていただいたものでありまして、その金額・内容につきましても現在協議中でありますので、全て相手の言うとおりのようなものではございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

納得がいくようなやっぱり交渉をお願いしたいと思います。

とりあえず、もうよろしくお願ひしますとしか言いようがないんですけども、それぐらいしかちよっと私のほうとしては、今の段階では言えませんので、よろしくお願ひします。

4番目でございます。

補助金に関してなんですけども、この返還見込みがゼロ円のところは、返還なしと考えてよいのかということなんですけども、そこら辺はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

全員協議会の提出させていただいた資料でいいますと、補助金に当たるものにつきましては、これまでと同じような形式、日帰り温泉、宿泊事業を続けるということであれば、返還の必要がないという方向性で現在調整をしております。

ただ、総務省の交付金につきましては、現在まだ協議中でございますので、明確にゼロ円というようなお話ではございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

まだちょっと不確定なところもあるけれども、一応このとおりでよということは、理解いたしました。

あと、5番目でございます。

高野所長は、本来はこの選定委員会が行われた後に、市が優先交渉者として通知をするのが通例で、その時点で初めて事業者が発表されるが、今回は通知を発送する前の段階で、議員の意見を聴いて優先交渉者に選定するかどうか判断したいと答弁をして、優先交渉者とする場合は、事業者に通知した後、結果公表となる。その後は、住民説明会を予定しているとありますけれども、まだ公表できる段階ではないということで理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

一般的には、選定委員会で譲渡先候補者として選定をされているわけですから、行政がそれによしということであれば、事業者への通知というのがすぐに行われることが、他市では多くなっております。

ただ、当市では、権現荘に関しましてはこれまでも多くの論議があったことから、全員協議会を開かせていただき、概要を説明させていただき、今議会で少し進んだ内容、また説明いただいた後で優先交渉者として判断していかという判断をさせていただいて、その後、通知という形になるかと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

1日の利根川議員の質問でもあったように、地元の説明会には米田市長、出席を希望する声があるんですけども、再確認なんですけれども、来ていただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

その発表の内容によって、私も出席させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

米田市長の顔が見たいとか声が聞きたいという方がいらっしゃいますんで、よろしく願いいたします。

（6）についてであります。

譲渡した場合も、計算上は10年で約1億5,000万円安く済むようですけれども、やはりこの市民感情としては、やはり釈然としないものがやっぱり残ると思いますんで、やはり負担が減るような交渉に努めていただきたいんですけど、そこら辺はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

現在の状況から見て、市の負担が減るとなると、財政支援の金額を減らすということになります  
が、そういったものについて努力してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひ頑張ってもらいたいなというふうに思います。

7番であります。

何に費用がかかり過ぎて利益を圧迫してしまったのか、その把握というんでしょうか、実際、よく把握はされていたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

今年度の運営ということで申し上げますと、5,180万円のうち、光熱水費が2,341万円かかることとなりますので、この金額についてをお風呂に入る料金だけで回収するのが難しいということかというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

例えばもともと宿泊できた段階のときに、なぜこういう事態になったのかというのが、ちょっと私にはよく分からないんですよね。公の建物で、ほとんどロスというか、何か固定資産税がかかるとか、何かかかってしまって非常に経営を圧迫するような、そういうものは私は見えないような気がするんですよね。だから通常ちゃんと仕事してれば、ちゃんと利益は出たんだろうと思うんですけれども、何があの建物がこう、圧迫するというか、経営が行き届かなくなったといいますか、そうってしまったのかなというのが非常に不思議で仕方ないんですよね。なので、本当にそこら辺どうなのかなと思ひまして、いろいろ皆さん周りの方はおっしゃるんですけども、直接、役所の方からこういうことが理由でこうなったということは聞いてないので、改めてこの席で言っていたらありがたいなと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

質問の内容が、宿泊をやっていた指定管理の頃のお話かと思ひます。そうしますと、今ほど申し上げましたように日帰りの温泉運営というのは、なかなか元が取れる事業ではありません。そういったところは、指定管理の中でも赤字というふうになっておりまして、それを宿泊事業の中で取り

戻すというのが指定管理の基本的な考え方であったようです。そういったものの中で、コロナ禍ですとか、そういったものの中でお客様が半減しているという状況が発生して、実際の経営が成り立たなくなっていたというふうに判断しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私は、あまりコロナのせいだとか世の中のせいだというのは、したくはないですね。やっぱりそこには人が関与してるわけですので、やっぱりそこら辺の緩さってのが私はあったような気が、気があったんじゃないかというふうに思います。やはり補助金等を活用して造った建物で、結局は市民の皆さんの負担を長きにわたってかけてしまう結果となってしまったんで、ほかの箱物についても戒めとしてもらいたいと思います。

次に、スキー場に関する質問に移りますけれども、初めに、市政にも多大な貢献をされ、火打山麓振興株式会社社長の織田義夫氏のご逝去に際しまして、心よりご冥福をお祈りいたします。

それでは、糸魚川市スキー場事業について、質問させていただきます。

1番目でございます。

当市のスキー場管理活用等調査報告での索道輸送人員の推移で、10年前と比べて、シーサイドバレーでは43万人から27万人、シャルマン火打は25万人から20万人に減少して、特にシーサイドバレーの減少が16万人減ってるということなんですけども、この減り方が著しいんですけども、そこら辺をどう思っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

シーサイドバレースキー場の減り方は、シャルマンと比べれば若干落ちぎみかなとは思いますが、全国傾向から見ましても同様な減少傾向であると思っておりますので、シーサイドバレースキー場だけではなくて、全体的な落ち込み状況かなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

2021から2022で、この両スキー場とも市からの指定管理料の援助がなければ、大幅な赤字と書いてあります。それに関してどう思うのかということと、やはり糸魚川市の負担額がそれぞれ1億円以上になっているということと、それとまた、今後のスキー産業の見通しをどのように分析しているかということを確認したいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

まず最初に、市からの補助金ということで1億円以上支出されておると。両スキー場も、やはり生い立ちというのが違っていて、能生のシャルマンにおきましては、第三セクターで地域振興のために事業のほうを行っておるものでございます。ですから、市のお金のほうも、当初から入っておると思っております。

また、シーサイドバレースキー場につきましては、当初は、民間でサービスを提供しましたが、やはり地域の皆様が、民間の会社を引き継いで、改めて会社を立て直した。それについて、また市のほうも地域振興ということでお金のほうを出させていただいたものかというふうに思っております。

また、昨今のスキーのトレンドと申しますか、今後どのように見ているかというお話ですが、やはりこの地球の温暖化におきまして、降雪量等も減っております。しかし、やはり富裕層の新たなレジャーとしまして、世界では大規模なスキー場というのも開発されております。昨今、妙高市のほうでもマレーシアのファンドのほうで、新たな開発をするというふうに言っております。ですから、トレンドとしましては、もしかするとやめるスキー場もあれば、大きく開発するスキー場も出てくるのではないかなというふうに思っております。

失礼いたしました。今ほど「マレーシア」というところ、「シンガポール」の間違いでございました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうですね、なかなか難しい時代になってきたと思います。

2番目であります。

オフシーズンの活用ですけれども、やっぱり夏の人工スキーだとかロープウエーを使って、紅葉を見るだとか、何かほかの観光資源を活用できないもんかと思うんですけど、そこら辺はどう思われておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先ほどの市長答弁にありますように、やはり既存施設、温泉等、宿泊施設等もスキー場の周辺にございます。そういったものを新たな活用方法を見いだしながら、改めて利用していく。また、スキー場だけではなく、周辺のエリアと一体となった活用方法等を検討していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、例えばオフシーズンで職員の方というんでしょうかね、どのような業務に携わっておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

やはりスキー場経営は、通年営業ができれば一番じゃないかなと思っております。シャルマン火打スキー場におきましては、ご存じのようにグリーンメッセ能生で、ゴルフ場の経営もされておりますが、シーサイドにおきましては、やはり夏場の間はなかなか業務はないということで、苦慮しているところが現実でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

6月の3日と4日に、私は4日の日に見にいったんですけども、シーサイドバレーでバイクのモトクロスがあったんですけども、何でアナウンスをされなかったのかなというふうに不思議なんですけどね。かなり行って見たらいいよというふうに言われまして、結構若い方というか、家族連れの若い方が、お子さん連れてやってきたんで、非常に、ええって思ったんですけども、そこら辺は、なぜアナウンスされなかったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

そのイベントにつきましては、市の主催ではなくて、民間の方が楽しむために実際に行ったものというふうに認識しております。参加されるご家族の皆様が、多く来られていたのではないかなというふうに思っております。

やはりオフロードバイクは、乗る方乗らない方というのは、はっきり区別できるものかなと思っておりますので、やはりお客様を呼ぶときには、そういった限られた中で集客のほうをされたというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

一応、先ほど地域振興というような言葉もありましたし、実際スキー場を駆け上がっていったわけなので、やっぱりもうちょっとアナウンスをしっかりとされたほうがよかったんじゃないかなと思いますし、また今年、今年といいますか来年度もあるかと思うんですけど、そこら辺もちょっと力入れていってもらいたいと思うんですけど、そこら辺いかがでしょうか。やっぱり職員も、自分たちで稼ごうというような意識がないと、なかなか結果も出てこないと思うし、そこら辺どうなんでしょうかね。このホワイトクリフだとか歩荷茶屋というのは、この会社の利益に寄与しているものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

やはりシーサイドバレースキー場に付随します施設でございますので、利用いただければ、寄与しているふうに、等は思っております。

ただ、今回のイベントにつきましては、先ほどお話しさせていただきましたが、市が主催、またシーサイドバレースキー場が主催ではなくて、民間の方たちがやられたイベントでございますが、今、ご提言ありましたように、一緒になってPRのほうを図っていけるかどうかは、また検討させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひお願いをいたします。

最後の質問になります。

今まで投資した、今までの投資を無にはしたくはありませんので、定量評価だとか定性評価では、やっぱり厳しい見通しも出ております。存続か廃止かを含めた判断が必要と思われまじけれども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

今ほど答弁させていただいておりますとおり、昨今のスキー場の運営については、大変全国的に厳しいものがあるというふうに思っております。そのような中、これまでも当市のスキー場につきましては、地域の産業振興ですとかスポーツの振興、あと雇用、それらを含めて、市が必要ということで運営してきたところでございます。冒頭の委託の状況結果も含めまして、今後、総合的に判断し、しかるべき対応が必要であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

温暖化による雪不足というのは、否めることはできません。

しかし、糸魚川市には観光がございますので、以上です。

ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時28分 延会〉

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

議 員

議 員